STEP 1

マテリアリティ候補リストアップ

右の情報などを踏まえ、当社グループに関係の深い課題を抽出し、
マテリアリティ初期候補を作成しました。

現行マテリアリティ
KPI進捗

中期経営計画
事業における外部環境・内部環境の整理

STEP 2

重要度による評価

各課題（マテリアリティ候補）について、リスクと機会の両面で、企業価値に与える影響の大きさやその顕在化可能性に関する影響度評価を実施しました。影響度評価に際しては、①経営としての意思決定が影響を及ぼせること、②中期経営計画とのつながりがあること、③測定が可能であることなども考慮しました。

財務影響評価

社会影響評価

STEP 3

有識者意見を踏まえた絞り込み

特定のプロセスや社会影響評価の妥当性を確認するため、有識者から意見聴取を行い、マテリアリティ策定チームとの検討会も実施しました。

有識者からのご意見

- 企業価値向上との連関が明確化されている。
- リスクと機会を両面で捉えた整理を評価したい。
- 事業戦略と一体化した重要課題の再定義ができている。
- KPIまで接続した実践的な見直しは評価できる。
- 財務・非財務を結ぶ構造が明確になった。

STEP 4

経営層による審議・承認

重要性評価や有識者意見を経て選定された重要課題を、サステナビリティ委員会及び取締役会（各1回ずつ）で経営層が議論し、8つのマテリアリティを決定しました。